

令和3年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	芳川児童センター		所管課 TEL	こども育成課 34-3261					
所在地	松本市村井町北1丁目724-1		設置年月	昭和56年4月1日					
施設設置目的	地域の児童健全育成の拠点施設として、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的としています。								
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積326.1㎡ 集会室、図書室、遊戯室、静養室								
指定管理者名（選定方式）	社会福祉法人 松本市社会福祉協議会（公募）								
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5か年）								
指定管理者の 主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の安全管理、健康管理、情緒の安定、児童への適切な遊びの指導 ・施設の維持管理 ・放課後児童健全育成事業 ・つどいの広場事業 								
利用料金制の導入	なし 委託料方式								
施設の 利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（%）	対前年比（%）				
	年間延べ利用人数	25,000	22,434	89.7%	96.8%				
	放課後児童健全育成事業 登録児童数（月平均）	170	158.8	93.4%	100.1%				
	つどいのひろば事業延利用者数	13,000	9,246	71.1%	74.9%				
	（特記事項）								
事業収支 （単位：円）	指定管理者収支（令和3年度）				市の収支				
	収入 （歳入）	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料 【内訳】	29,263,000	指定管理料 【内訳】	29,434,681	利用料	4,606,160	利用料	4,180,073
		児童館運営 つどいの広場	23,018,000 6,245,000	児童館運営 つどいの広場	23,189,275 6,245,406	国・県補助金 【内訳】	16,401,000	国・県補助金 【内訳】	16,524,280
						児童館運営 つどいの広場	12,238,000 4,163,000	児童館運営 つどいの広場	12,361,280 4,163,000
	計	29,263,000	計	29,434,681	計	21,007,160	計	20,704,353	
	支出 （歳出）	人件費 【内訳】	27,029,000	人件費 【内訳】	25,434,705	指定管理料 【内訳】	28,881,352	指定管理料 【内訳】	29,747,878
		児童館運営 つどいの広場	20,261,000 6,768,000	児童館運営 つどいの広場	19,449,651 5,985,054	児童館管理 つどいの広場	22,635,946 6,245,406	児童館管理 つどいの広場	23,502,472 6,245,406
		事業費 【内訳】	1,544,000	事業費 【内訳】	1,456,233				
児童館運営 つどいの広場		1,349,000 195,000	児童館運営 つどいの広場	1,261,550 194,683					
事務費 【内訳】		1,294,000	事務費 【内訳】	980,313					
児童館運営 つどいの広場		819,000 475,000	児童館運営 つどいの広場	695,355 284,958					
助成金等 【内訳】		94,000	助成金等 【内訳】	94,000					
児童館運営 つどいの広場		94,000 0	児童館運営 つどいの広場	94,000 0					
計	29,961,000	計	27,965,251	計	28,881,352	計	29,747,878		
損益	-698,000		1,469,430	差引	-7,874,192	差引	-9,043,525		
（特記事項）									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評価の基準		
A	(1.0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7)	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5)	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分の確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0)	不適切な部分の確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
63.2

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠	
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	C	アンケートから、人によって対応が異なるとの指摘があったことから、指導し改善していく。	
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件調査項目を確認したところ、業務従事者の適正な労働条件は確保されている。	
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	関係機関への連絡及び事故状況の把握、記録、市への連絡と報告書の作成まで、一連で緊急連絡網が作成されており、問題はない。	
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	施設内に潜在するリスクの洗い出しを行い、利用者の事故を防止するための対策の工夫が施設に見られる。	
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	ウイルス対策を講じており、電子メールにはパスワードを設定している。また、個人情報の台帳は、書棚を施錠し管理している。	
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	経理担当が本施設専用の会計帳簿により、経理の管理をしており、情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。	
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	決算を確認した結果、経営状況に問題となる点は見当たらず健全な経営を行っている。	
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	市内周辺の事業所において、サポート・バックアップを常に行える体制が確立されている。	
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。	
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	報告書類も適切に作成され、緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。	
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	勤務表及び日報で確認したところ、人員配置、シフト体制、勤務時間ともに概ね適正である。	
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	A	館長、支援員の指揮系統、責任権限が明確になっている。また、館長不在時の対応も明確で、評価できる。	
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	業務の効率化に努め、年次休暇の計画的な取得が図られている。	
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	事業計画に基づき、接客研修、安全講習を計画的に行っており、アンケート調査での市民からの意見は良好である。	
		経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	専用の会計帳簿により適切におやつ代の収受、管理経費の収支をスタッフ2名で管理しており、問題は見られない。
			16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	警備、消防設備保守点検業務等の管理業務の一部について、第三者との当該契約に係る契約書等を確認した結果、適切に実施されている。
安全管理	17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告書及び事業報告も適切に作成され、期限までに提出されており、問題はない。		
施設の運営	業務内容	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	緊急時の対策として安全講習が行われており、緊急時対応が業務従事者に徹底されていることから、問題はない。	
		19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲についての的確に把握されていることから、問題はない。	
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、運営委員会で協議のうえ、適切に計画が履行されている。	
	地域との連携	21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	仕様書に基づいた営業時間で運営がされており、また、事業計画書に基づき適切に事業が実施されており、問題はない。	
		22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	協力団体と連携を取りながら奉仕活動を実施しており、地域活動等の情報収集等、周辺施設との連携が図られている。	
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	児童センターだより等により広く情報を発信するなど、施設の利用促進のための取組みをしている。	
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	長期休業中の各種イベントの開催など、利用者サービスを目的とした自主事業や企画が実施されている。	
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	事業計画に基づき、接客・接客研修が行われており、障がい児、児童、親子連れに対し配慮した対応ができています。	
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	利用者ニーズを把握するためにアンケート調査を2回実施し、業務改善や迅速な苦情対応に努めている。	
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	セルフモニタリングや自己評価が適切に実施されている。	
環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	電気、ガス・灯油、ガソリン、紙等の資源・エネルギー使用料削減目標に向けて、取組みや工夫を行っている。		
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	工作に利用する材料に廃材を活用し、経費節減に努めている。	
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	事業計画書どおりの事業を実施したが、利用者は減少した。利用促進には努めている。	

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和4年3月
	調査対象	利用児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙への回答
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和3年度の 自己評価	年間を通して、日々の活動や事業を実施する上でその都度、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための方策と、充実した有意義な活動を実施するための方策との兼ね合いを検討する必要があった。検温、手洗い、消毒、換気等の基本的な感染対策を継続して行いつつ事業を推進したが、判断が難しい場面は多々あった。そんな中、子ども運営委員会は工夫をしたり知恵を絞ったりして活動を行った。多くの事業が児童たち自身の発案により企画された。また、係活動も着実に進められ、日々の活動に加えて行事の際にも活動内容を生かした発表などが行われた。可能な範囲の中で、子どもの自主性、主体性を尊重しつつ活動を重ねることにより、新型コロナウイルス感染拡大防止のために生じる困難な状況の元でも、子どもたちは経験を重ね、運営する力を深めて行った。その中で同時に、他者のことを考え思い遣る力も深めて行ったと考える。
要望・苦情への 対応状況	また、タイミングを計りながら、地域の方とのウォーキングや、地域の方を招いての行事を行い、児童による発表や地域の方による発表を通して交流を楽しむ会を開催して、地域との繋がりを深めた。つどいの広場では、感染防止対策を講じつつも多くの行事を提供して、小さな子どもを持つ保護者へ楽しい時間を提供することができ、親子さんの笑顔を見ることができた。
今後の目標	新型コロナウイルス感染拡大防止対策は今後も変わらず継続する必要がある。状況に応じながら、可能な限り活動を行いたい。華々しくはなくても、子ども達の発想と自主性を大切に活動を重ねたい。そして子ども自身が喜びを感じる瞬間を生み出すことができるように職員が丁寧な支援を行うように心掛けたい。そして、そのような瞬間について職員間や保護者との間で共有ができることにより、信頼関係の構築に繋げることができると思われるので、コミュニケーションを大切にするように努めたい。 また、地域の方々との繋がりが世代間の交流についても、より多角的な発想の中で考えて行きたい。地域の中で、児童センターの子ども達も、地域の他世代の方々も、双方が他方からエネルギーや喜びなどを受け取ることができるような場面を創出できるように工夫をしたい。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準	
A (1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B (0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C (0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D (0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案書に基づく事業計画に基づき、概ね適切に事業が実施されている。 <p>【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】</p> <p>【総合的な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果は概ね利用者の満足を得るものであり、安全に配慮した適切な管理が行われている。 ・児童の様子について、学校等と緊密な連携が図れている。 ・新型コロナ感染防止対策を行いながら、可能な範囲で行事の企画や地域等との交流を行っている。 ・利用者の中で新型コロナ陽性者が発生した際は、学校と情報共有を図り連携をとりながら対応している。 ・引き続き施設の立地特性を活かした特色ある児童館運営に努められたい。また、指定管理者独自の強みを活かすとともに、「松本市子どもの権利に関する条例」に基づき、利用者と保護者に寄り添い、多様化する児童館へのニーズに応えられるよう、柔軟であり堅実な運営を期待したい。

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
70.2

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適正

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和4年3月						
	調査対象	利用児童の保護者						
	調査方法	アンケート用紙への回答						
調査結果	児童館・児童センター・放課後児童クラブ アンケート集計表 施設名: 芳川児童センター							
			満足	どちらかという満足	ふつう	どちらかという不満足	不満足	計
	設問1	職員対応	13	3	0	1	0	17
	設問2	遊び	13	3	1	0	0	17
	設問3	遊具施設	10	3	4	0	0	17
	設問4	衛生管理	14	1	2	0	0	17
	設問5	行事	13	3	1	0	0	17
	設問6	雰囲気	10	4	2	0	1	17
	設問7	利用し易さ	10	3	4	0	0	17
			83	20	14	1	1	119
	つどいの広場 アンケート集計表 施設名: 芳川つどいの広場							
			満足	どちらかという満足	ふつう	どちらかという不満足	不満足	計
設問1	職員対応	18	3	0	0	0	21	
設問2	遊び	11	4	1	0	0	16	
設問3	講座催し	10	1	1	1	0	13	
設問4	遊具	18	2	0	0	0	20	
設問5	衛生管理	18	1	1	0	0	20	
設問6	利用し易さ	20	0	0	0	0	20	
設問7	情報提供	23	3	1	0	0	27	
		118	14	4	1	0	137	
利用者からの意見 要望・苦情等	【児童センター】							
	<ul style="list-style-type: none"> ・本を新しくしてほしい。 ・申込みなど書くものが多いので、減らす、アプリ化など検討してほしい。 ・人数のわりに施設が狭いように感じる。 ・相手や内容によって対応がバラバラで差がある。差のない対応をしてもらいたい。 							
【つどいの広場】								
<ul style="list-style-type: none"> ・相談や話もできて母もリフレッシュできてありがたい。 ・コロナによる休館情報や混雑状況等が、ウェブ上でわかると嬉しい。(4件) 								